

## 日吉津村自治基本条例策定委員会グループ3（第1回）議事録

日時：5月6日（火・祝）午後7時30分～9時30分

場所：役場第1、2会議室

出席者 山崎副委員長、田邊委員、奥田委員、住田委員

欠席者 池田委員、川原委員

事務局 前田課長、福井主査

○協議

◇自治基本条例の内容の検討について

### グループ3（議会）

（事務局）

- ・前回の議事録に基づきおさらい。

### <自治の基本>

#### 環境保全（持続的発展）

- ・本日は前回の続きで、「自治の基本」について議論していただきたい。
- ・この条例づくりの目的は、自治体が存続し、持続的発展（自立）するために行うもので、自治体あつての自治基本条例だと思う。生野町は条例制定後に合併した。
- ・生野町の場合は、合併協議の前提として条例の内容が活かされた。現在、新たな基本条例を策定中とのこと。
- ・自治体が持続していくことを前提に条例を策定しなければならないと思う（合併協議する場合であっても）
- ・昔から考えれば、日吉津村の人口の半分は新しい（転入した）人、新しい住民の方にも「村に誇りを持てる」ような条例にしたい。
- ・新しい住民の立場から、村に転入してみて、まず「ここに根付こうとする」。日は浅いが、愛着心が持てる。
- ・日常のつきあいの中で、若い人と年配の人との交流が少ないように感じる。
- ・自治会（住んでいる地域）によっても状況が違ふ。上 1、富吉、海川は新しい人が増えていない。上 2 も高齢化が進んでいる。今吉、海川新田、下口には新しい人が増えた。
- ・そこに根付くためには、生活できることが前提となる。就業の場をしっかりと確保しないと、人口減少につながる。
- ・日吉津を魅力的な村にするためには、どんなことが必要か？
- ・働きに行きやすい場所。（ベッドタウン的には恵まれている）
- ・住んでみて「ほっと」するところ。例えば緑が多く欲しい。
- ・県内で唯一の村となり、「村」ということが誇れるようになった。

## 安全・安心

- ・ 秩序ある発展・開発による安心安全の確保が、住み続けるための一つの条件。
- ・ ある程度の利便性や快適性が必要。
- ・ 利便性とは誰を対象とするか。車で移動できる若い世代を対象とするのか。高齢者等の交通弱者を対象とするのかによって利便性の内容が異なる。
- ・ 交通量が多い道路で、シニアカーは大変危険だと思う。子どもから大人、お年寄り、誰にとっても住みよい村を目指したい。
- ・ 近年、無料の高速道路が開通した。時間的には米子から 20～30 分程度の距離で、大山町では地価が安く、都市計画区域外で、IC付近に住宅の需要や利便施設（商業系）の需要が増えるかもしれない。日吉津から米子まで 15～20 分程度の時間を考えれば、今後はさらに郊外に都市化が進む恐れがある。
- ・ やはり住み続けるためには、魅力が必要。そして働く場が近くに必要。
- ・ あらゆる世代に安心安全を提供できることも必要。
- ・ 安心安全の提供は、ハード面とソフト面があると思うが、「あらゆる世代」にハード面で対応することは現実的に無理がある。将来、財政的に多少の余裕ができた場合でも、（費用対効果の面から）これまで実施してきたようなことは、今後は実施するのが難しいのではないか。
- ・ 他の条例で「自立」と「自律」とあるが、中学生でも分かるように「自立」の方がよいのでは。

## 参画と協働

- ・ 村民は「村づくりに積極的に参画する」ことを明文化したい。

### ◇その他

（事務局）

- ・ 次回は、5/18（日）午後 7 時 30 分～役場で開催。

### ○閉会